

横浜市立大正中学校 令和元年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針(※5月号に掲載済みのため略します)

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

一昨年度、第2学年(H29年度)を中心に市の平均を上回ることができ、全体的に学力が向上している傾向がみられ、特に学習意識では、ほとんどの教科が市の平均を上回るまで上昇させることができていた。しかし昨年度は、市の平均を上回ったのは第3学年(H30年度)の1教科のみで、全体的に市の平均を下回る結果となった。「勉強が好き」と答える生徒の割合も全体的に下降傾向であり、知識・技能の定着も低い。第3学年では、少人数での授業展開を行うなどの工夫を重ねているが、より全職員でユニバーサルデザインを活かした授業改善を推進し、より良い学習習慣を生徒に身に付けさせ、魅力ある授業を展開していくことにより、生徒の学力・学習意識共に向上させることにつなげていきたいと考える。

(2) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析

「授業が分かる」「授業で自分の考えを発表している」と答える生徒が増える傾向にあり、「学校図書館に行くことが好きだ」「芸術に関心がある」と答える生徒が年々増加し、市の平均に達する状況になったことは印象深い。学習や文化への関心が高まっていると考えられる。

しかし、「1日に勉強する時間」「1日に読書をする時間」は市の平均の3分の2程度と少なく、本校でも減少傾向であり、「携帯電話やスマートフォンを使用する時間」が3時間以上と答える生徒は3人に1人に届く勢いであることが分かる。

学習への実際的な取組も浅いため、学力の向上が難しい現実もある。既習の学び直しを取り入れた授業など、授業改善が更に必要と考えると共に、家庭学習の定着に向けた取組に工夫・改善が必要である。

(3) 「hyper-QU」による分析

学校生活についてのアンケートの学級分布図を見ると、学級満足度に関きのある学級が多い。特に第3学年(H30年度)は、「学校は安心できる場所だ」と答える生徒の割合が低いことが分かる。自分なりの考えをもつとともに、自他の違いを認め合い、受け入れ合う学級づくりを心がけていくことが必要であると考えられる。

各教科等の授業づくりにおいては、まずは生徒一人ひとりが安心してじっくり考えられる場面を保障したい。そして、自分の意見をもとに自信をもって話し合いに参加しながら、友達意見を尊重し、よりよい考えに高め合えるような展開や、そのための授業でのルールを徹底を工夫していきたい。

3 令和元年度 教科領域等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

育成を目指す資質・能力		前期具体的取組	
国語	人との関わりの中で伝え合う力を高め、言語感覚を豊かにして、思考力や想像力を持つ力を育てます。	・漢字小テストを計画的に実施し、基礎・基本の定着を図ります。 ・グループ学習など課題解決型の学習を取り入れることで、伝え合う力や思考力を身に付けさせます。	社会 広い視野に立ち国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な力を育てます。
	基礎的な概念や原理・法則を理解し、数学的活動やよさを実感して粘り強く取り組み、考え、自ら問題解決できる力を育てます。	・一回一回、本時のめあてを提示し、計画的に計算問題の反復を行い、基礎・基本を定着させます。 ・グループでの活動を取り入れ、生徒が学び合うことで思考力、判断力、表現力を身に付けます。	理科 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的な根拠に基づき論理的に自らの考えを表現する力を育てます。
			・本時のめあてを提示し、見直しをもてるように、導入を工夫します。 ・社会的な見方・考え方を働かせながら資質・能力を身に付けるため、資料を活用した少人数による話し合い活動を計画的に取り入れます。 ・基礎の定着を図るため、ICT等を取り入れながら、丁寧な問題演習を行います。 ・論理的な思考力を高めるために実験や観察をさらに重視し、実験計画や仮説・考察の議論、結果の共有など、協働的に学ぶことができる場面を計画的に取り入れます。

音楽	表現・鑑賞活動を通して、生活や社会の中の音と音楽と豊かにかかわる姿勢を育てます。	・生徒の実態に合わせて〔共通事項〕を焦点化した授業構成を行い、音楽活動の充実に必要な基礎的・基本的能力を伸ばします。 ・生徒同士が音楽表現について意見交換する場を意図的に設定し、よりよい表現を目指すことのできる学習展開を工夫します。	美術	表現・鑑賞活動を通して、生活や社会の中の美術文化と豊かにかかわる姿勢を育てます。	・生徒の発想を認め、自らすすんで制作に向かう姿勢を身に付けさせます。 ・表現の意図を理解して創意工夫し、よりよい制作を行おうとする力を育てます。 ・鑑賞活動を通して、文化の多様性・他者の価値観を認める心を育てます。
保健体育	心と体を一体として捉え、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する力を育てます。	・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにします。 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養います。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かな生活を営む態度を養います。	技術・家庭	生活に関わる見方・考え方や技術の見方や考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、知識及び技能を生活の場で生かせる力を育てます。	・身の周りの生活課題を発見しよりよい生活の実現に向けて思考判断する力を身につけます。 ・多様な社会生活の中でも、よりよい生活の実現に向けて、工夫し創造する力を育てます。
外国語	外国語による言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりする力を育てます。	・英語の知識や技能を学ぶために自分の言葉で自分の考えを発信し、相手とやり取りする能力を育成します。 ・自分の持っているあらゆる知識や類推する力を使って、外国語で書いてあることや会話などの内容を理解したり、伝えたい内容を表現したりする能力を育成します。	道徳	人間としての生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てます。	・学年一斉でグループ討議を中心とした授業を行い、「考え、議論する道徳授業」について研鑽する。その取組を持ちよって研修会を行い、後期の授業実践につなげます。
特活	特別活動を通して、人間関係形成、社会参画、自己実現にかかわる力を育てます。	・諸活動、諸集団における課題を見出し、よりよく解決するために合意形成を図る機会を設けます。 ・キャリア教育を充実させ、様々な場面で基礎的、汎用的能力を育みます。	個別支援級	・社会的自立に向けた基礎学力、生活力を育みます。 ・他者との適切な関わり方ができるコミュニケーション力を育てます。	・個別の支援計画・指導計画に基づき、一人ひとりの授業内容、指導方法、学習集団の構成を工夫します。 ・発言、発表する機会の充実を図るとともに、周囲と協力しながら課題解決する場面を多く設定します。
総合	探求的な学習を通して、自らの生き方を創りだす力を育てます。	実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する学習を繰り返し展開します。			

=今後の主な行事予定=	
○6/13 (木)・14 (金) 中間テスト	
○18 (火)・19 (水)・25 (水) 3年保育実習	○20 (木) 生徒総会
○21 (金) あいさつ運動、小中ブロック公開授業研究 (5校時)	
○24 (月) ⑥全校集会 水着販売 15:30~16:00	
○27 (木) 児童生徒ブロック会議	
○28 (金) 授業参観 (5校時)、Pハマ弁試食会 12時~、補助教材等集金 13時~14時	
授業参観後：1年学級懇談会・茶話会、2年学年懇談会・茶話会、3年進路説明会	
○7/ 5 (金) 地区懇談会 15:00~体育館	
○9 (火) ~12 (金) 保護者個人面談 13:45~	

